

## 特別な教育課程特例校についての評価に関わる学校関係者の評価

本校は環境教育、英語イマージョン教育について特別な教育課程特例校の認定を受けて、その学校関係者へのアンケート結果を公表します。

### 1. 環境教育に関する満足度

環境教育への取り組みについては、概ね好意的な評価をいただくことができた。新聞などのメディアへの取り上げも多く、学校の知名度の向上にも大きく貢献していると思われる。

アンケートに答えてもらうにあたり、学校ホームページの「新着情報」を確認してもらった結果、自由記入欄にも好意的な文章やこれからの発展的な文章をいただくことができた。

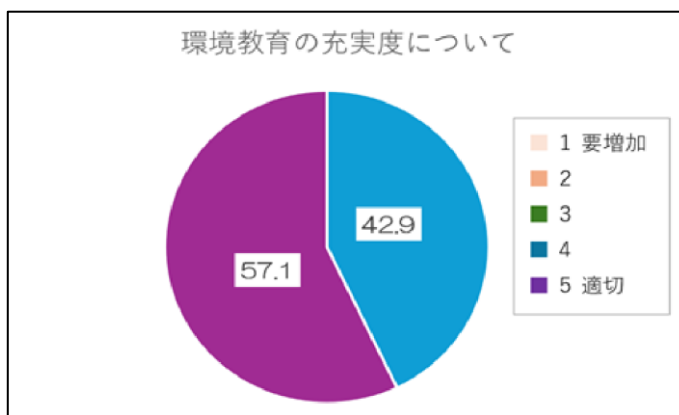
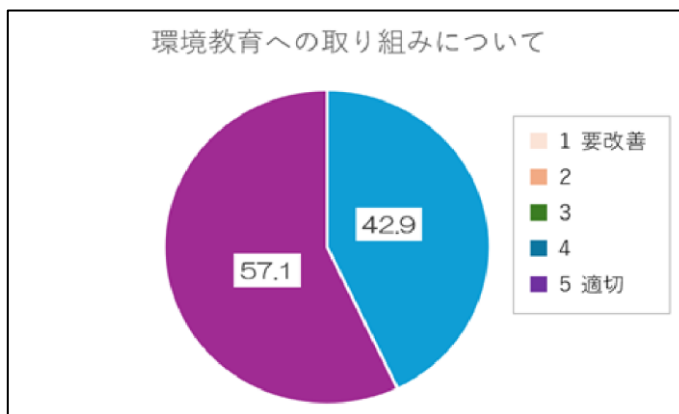
以下はそのコメントを記述する。

「リンデンホールスクールの環境教育は、単なるSDGs学習ではなく、「環境をテーマにした国際バカロレア型の探究教育」として大きな特色を持っていると感じます。」

「中学校3年間（7年生～9年生）で105時間の「環境科」を設置していること自体も大変意義深いことですが、実際にはその授業時間を超えて、英語イマージョン教育、フィールドワーク、食育、ESD活動、学校文化全体にまで環境教育の理念が浸透している点に、リンデンホールならではの魅力を感じます。」

「環境問題を知識として学ぶだけでなく、自分事として考え、問いを持ち、行動し、世界へ発信できる力を育てる教育は、これからの時代にますます重要になると思います。」

「特色ある教育実践が今後も継続・発展し、生徒の探究活動や研究成果がさらに広く社会へ発信されていくことを期待しています。」



## 2. 「英語イマージョン教育」に関する

英語イマージョン教育については、環境教育と同じように好意的な評価を受けつつも、もう少し事例を増やしてほしいという旨のコメントもいただいた。本校有志生徒による英語歌舞伎に関しては、新聞にも取り上げられ、非常に高い評価を得ることができたと思う。

以下はそのコメントを記述する。

「イマージョン教育は、単に英語力の向上を目指すものではなく、英語を「学ぶ対象」ではなく「考え、調べ、発信するためのツール」として位置づけている点に大きな特色があると思います。日常的に英語に触れながら、多様な価値観や世界とつながる視点を育む学びは、これからの時代にますます重要だと感じます。」

「グローバルな活動、「模擬国連」などの外部プログラムに挑戦できる環境づくりや生徒たちへの情報宣伝などをもっとして頂きたいです。」

